

甲斐駒ヶ岳山行報告

【日時】7月13日（金）夜発・15日（日）午後千葉着

【天候】くもり後雨

【行程】13日 20:00 千葉駅集合→穴川 IC→芦安市営駐車場にて仮眠

14日 4:30 芦安市営駐車場より乗り合いジャンボタクシー乗車→6:00 広小路着・6:30 頃バス乗車→7:00 北沢峠着→7:20 長衛小屋（テント設営）→8:00 登山開始→8:40 仙水小屋→9:30 仙水峠→11:00 駒津峰→13:30 登頂→17:30 テント場着

15日 7:25 バス乗車 →8:00 ごろ広小路着・発→芦安駐車場着→温泉食事の後、各車帰路に

【参加メンバー】室昌（CL）、狩野（SL）、時田、澤田、渡辺純、藺田、菊池、吉瀬、下牧、秋本（記録）

【内容】

週半ばから、天気予報は徐々に好転し、中止は免れましたが、2日目に予定していたアサヨ峰はおそらく中止になるとの見込みで、当初予定していた仙水小屋（アサヨ峰と甲斐駒の分岐点に近い）ではなく、バス停付近の長衛小屋にテント設営しました。

前夜泊の金曜日、千葉駅に集合し中央道を通って、芦安駐車場へ。到着した時にはすでに、翌朝乗車予定のジャンボタクシー乗り場に、順番とり用にザックが並んでいます（そういうルール？）。遅れてはいけない

と、我々もザックを並べました。翌朝、ザックの列

は伸びており、昨晚並べていなければ、1巡目のタ

クシーには乗れていなかったと思われました（天

候もいまいちだったので、天気が良ければさらに

すごいことになっている可能性あり）。4:30 から、

タクシー・バスを乗り継ぎ、北沢峠バス停につく

と、咲き誇るクリンソウ（→）を愛で、10分ほど

で長衛小屋着。前夜泊組なのか、すでにテントでい

っぱいでした。テント設営後、さっそく出発。30分ほ

ど歩くと、当初テント場として予定していた仙水小屋に着。令和天皇が皇太子時代の登山中に飲み、その美味しさに、帰ってから侍従に頼んでもう一度取り寄せたという水（湧き水？）が飲めます。美味しい,,,のかな？



その後、黒い石が特徴的なガレ場を小一時間歩くと仙水峠着。ここで菊池さんは、アサヨ峰に登るということで別行動となりました。樹林帯の中を 1 時間



菊池さんと別れを惜しむ



左側にオベリスクがチラリ

ほど歩くと、後方には、ガスの間からちらちらと鳳凰三山のオベリスクが見えます。右手には甲斐駒山頂と摩利支天。遠くからはよく眺めていましたが、近くで見るとさらに堂々としてカッコいい！駒津峰からは、スリリングな真正面のルートではなく、巻き道を選択。アップダウンが増え、岩場をいくつか通り過ぎた後は、細かい砂利の上をずりずり落ちながら登っていきます。ここまでも、これ以降も、たくさんのパーティーと道を譲ったり、譲られたり、悪天気予報にもめげず、大盛況でした。後 30 分程度で山頂というあたりで、ポツリと一粒、後 5 分というあたりでポツポツきたのでカッパを着込んで登頂。真っ白



で綺麗な山頂（室リーダー談）で記念撮影。雲の間からときどき開ける景色を楽しんだ後、下山開始。みなさんの普段の行いが良かったため、最後まで、霧雨程度のポツポツした雨のままテント場に帰ってくることができました。それでも、甲斐駒ヶ

岳はやはり高く、梅雨でなまった体では、帰ったときにはみんなへトへトでした。

雨でなければ、外で宴会でしたが、残念ながら、各テントでトマトスープやカレー、お酒で体を温め、早めに就寝。夜中には激しい雨音が聞こえてきました。どうなることかと思いましたが、朝は少しましになった雨の中、素早くテント撤収。バスやタクシーの乗り継ぎも順調で、近くの温泉で汗を流し、菊池さんオススメのボリューム満点天ぷら蕎麦を堪能した後、解散となりました。

みなさん、大変お世話になりました。1日だけの日程となり残念でしたが、梅雨がまだ続きそうな中、久しぶりに山に登れて楽しかったです。